

いま、一番知りたいテーマについて
いま、一番議論したい人たちと議論できる
マーケティングを学ぶ人々に
広く門戸を開放した組織 それが“MCEI”



Marketing
Communications
Executives
International

TOKYO / OSAKA

MCEI is people, MCEI is education, MCEI is information,
MCEI is recognition, MCEI is professionalism

MCEIとは

MCEIは、マーケティングを学ぶ国内及び海外の人々を支援する事業を行い、広く門戸を開放し、生涯学習教育に寄与し、人々の豊かな暮らしを実現することを目的とする組織です。スイスのジュネーブに国際本部があり、世界各地の支部がマーケティングを通じて交流しています。

MCEIの歴史

MCEIの源は、1954年アメリカのニューヨークでセールスプロモーションの実務家が集まり、まだ体系化されていないノウハウの交流をはじめた組織に端を発します。日本では、渡米研修した故水口健次氏(元東京支部創設理事長)が、1969年東京に支部を設立、以来40年間非営利のマーケティング研究組織として、会員のボランティアにより運営されてきました。この間1972年には大阪にも支部を設立しました。

毎月の研究会開催、毎月の機関誌の発行、毎年会員の提言集「百人百語」の発行、マーケティング塾(ビジネススクール)の開講、海外からの留学生対象の懸賞論文募集と表彰、海外研修ツアーの実施、国際大会、アジア大会の開催・参加等幅広い活動を行い、マーケターの養成、国際交流に努めてきました。

東京支部は、設立以来このような活動を続け、世界の各支部からもっともエキサイティングな支部と評価されています。特定非営利活動促進法が施行され、この素晴らしい組織を永続ならしめるため、大阪支部と一緒に2001年にNPO法人を設立しました。

2010

百人百語

100People, 100Voices



Marketing
Communications
Executives
International

MCEI東京・MCEI大阪

企業に求められる、働く人の「強くて良い暮らし」の支援

不安や迷い、悩みを抱える人の何と多いことか。大袈裟な表現とは言え、「1億総悩める子羊時代」とさへ感じる。

減給、メンタルヘルス、リストラ、自殺、離婚。元気の無い親・大人の後ろ姿を見て、進学説明会で学費の不安を訴えたり、キャリア教育で夢を聞かれて困る子供もいる。

企業は、「強くて」（経済環境の変化に対応できる）、「良く」（社会に貢献し、働き甲斐のある職場を提供する）なければ生き残れないが、今後は、時代が更なる責任を求めるだろう。それは「良さの深耕」だ。

つまり、働き甲斐や社会貢献に留まらず、働く人自身も、毎日の暮らしが「自立した強さと良さ」を持つ必要がある。安心安全な生活を心掛け、打てる手を打っておけば、心にゆとりができ、明るくなる。

働く人の「強さ」は、自分の周りの環境が変わっ

ても対応し乗り越える「タフさ」であり、キャリア構築や家計のマネジメント、地震や災害時のリスクマネジメント等を含んでいる。

「良さ」は、その働く人と家族が、どのような価値観で、様々な立場を生きていくか。自社の経営理念に沿った価値観を持ってもらえるなら、働く人達によって、さらに強い会社を作り出していくことになるだろう。

働く人の求める「強さと良さ」は、働く人が、自分達の中にすべて答えを持っている。それを気付かせ、引き出す場を与えるのが、企業の支援だと思う。

まつうら
松浦 なつひ

（株）会社業務研究所
取締役 研究員